

『あんしん君』のお取り扱いについて

☆保管上のご注意☆

『あんしん君』は、屋内の湿気の少ない場所で保管して下さい。
(やむを得ず屋外に保管する場合は、雨が当たらないように防水シート等で覆って保管して下さい。)

また、紙は可燃物ですので、保管の際には火気に充分注意して下さい。(火気厳禁!!)

☆解梱上のご注意☆

『あんしん君』は、針金で結束されていますので、針金の切断及び取扱いには充分注意して下さい。

また、切断部の針金は鋭くなっている場合がありますので、身体を傷つけないよう注意して下さい。

☆使用中のご注意☆

『あんしん君』は、家畜が食べても安全です。但し、粗飼料ではありませんので、飼料槽に入れて給与する事は避けて下さい。

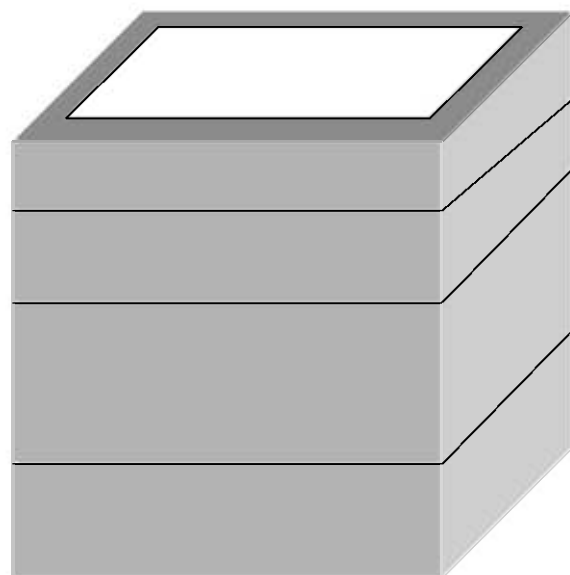
☆使用後の堆肥化☆

『あんしん君』は、糞尿と混和して良好な堆肥となります。オガクズ入り堆肥で問題となる難分解性物質のリグニン等の含有が非常に少なく、簡単に分解し、良質の発酵堆肥が出来ます。

また、『あんしん君』は、乾燥古紙が原料なので、オガクズやモミガラに比べて少量での水分調整が可能です。

現在、水分過多で堆肥化発酵の状態が悪い場合は、低水分の『あんしん君』を投入して適性な水分に調整して下さい。

☆梱包形態☆



1個あたり250~300kgに圧縮して梱包していますので、積み上げ保管ができ、場所をとりません。

側面に番線、その上から側面のみストレッチフィルムでラッピングしています。

番線の本数は標準で3本です

番線0本も対応できますが、荷役時に崩れる恐れがございますので、ご注意下さい。

標準寸法は高さ90×幅80×奥行き90~100(cm)です。

『あんしん君』の上手な使い方

『あんしん君』は、単独で使用することも、オガクズ・モミガラ等、現在ご使用されている敷料と混合して使用することもできます。

☆『あんしん君』単独使用の場合☆

- ・肉用牛の場合、成牛1頭（床面積5㎡/頭）に対して、概ね30～40kgが目安です。牛舎への敷き込みは、一度に全量を入れずに、最初半分を敷き込んで、床が汚れてきたら残りの半分を追加するのが効果的です。床面積が5㎡/頭を超える場合は、床が見えなくなる程度に追加して下さい。
- ・乳用牛の場合、慣行敷料（麦稈、オガクズなど）と比較して少ない量で同様の吸水効果が得られます。特にフリーストールのベッドに使用すると、定期的な交換により乾燥した牛床が保て、安楽性の向上につながります。
- ・つなぎ牛舎でのご使用の場合、ミルクカーへの混入がないようにご注意ください。
- ・『あんしん君』は、乾燥した古紙で作られている為、敷き込み直後は扇風機の風で舞う事があります。そのような時は、少量のオガクズやモミガラ、又は戻し堆肥を『あんしん君』の上に散布して下さい。

☆『あんしん君』と他の敷料との混合使用の場合☆

- ・『あんしん君』は、他の敷料との混合使用が出来ます。

畜種（飼養形態）	『あんしん君』の使用量の目安	従来の敷料との混合割合の目安
乳用牛（フリーストール）	初回投入30～40kg/頭、その後、随時補給します。	必要に応じて添加
乳用牛（つなぎ飼養）	5～10kg/頭、随時除去交換します。	必要に応じて添加
肉用牛（敷料多給型）	40～50kg/頭・月、2回に分けて使用して下さい。	あんしん君：従来の敷料 30～70%：70～30%
肉用牛（敷料節約型）	20～30kg/頭・月、2回に分けて使用して下さい。	あんしん君：従来の敷料 30～70%：70～30%

- ・肉用牛の場合、牛の成長に合わせて、混合率を変えていくと効果的です。（育成時はあんしん君を多めに。成長に合わせて木質系資材を増やしていくなど）
- ・未粉碎のモミガラは水分吸収が少ないので、あんしん君を多めに使用して下さい。